

第6章 分子拡散法による 二酸化窒素調査結果

1 目的

二酸化窒素は、全国的にも濃度が上昇傾向にあり、自動車交通量の増加などに伴い、中小都市においても、今後、汚染が進むことが懸念される。

このため、大気汚染自動測定局が設置されていない地域においても、大気環境監視の一環として汚染状況の把握を行うこととし、簡便に汚染状況の把握が可能な分子拡散法による二酸化窒素の測定を平成3年度から実施している。

なお、平成13年1月に日田市に自動測定局が設置されたことより、本年度から日田市での測定は行っていない。

2 調査地点

調査地点は16箇所、その設置状況を図6-1に示す。

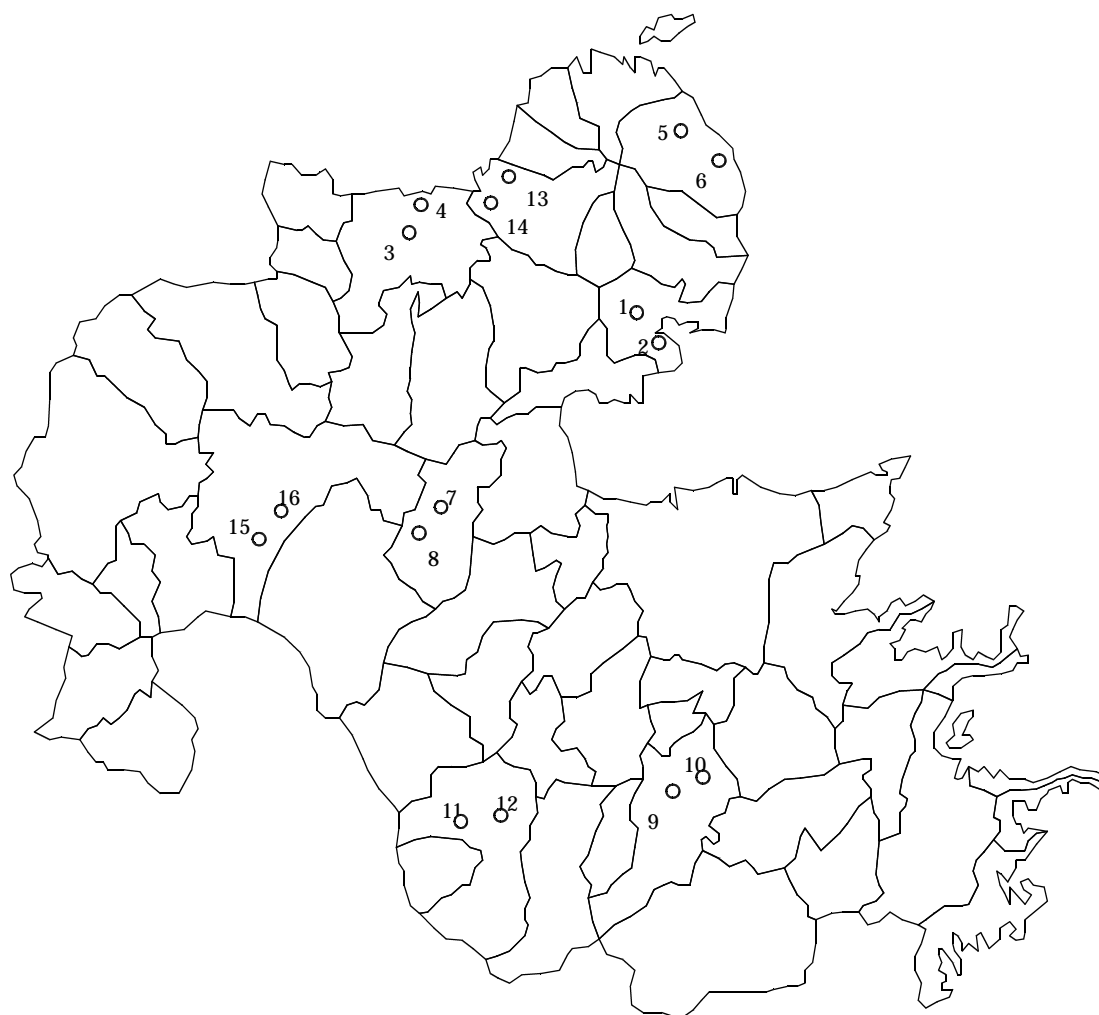
3 調査期間

平成13年4月～平成14年3月

4 調査方法

分子拡散法による。

キャップにステンレス三重メッシュのついたガラス円筒の底にトリエタノールアミン含浸紙をセットしたサンプラー（KG-KN-Sサンプラー）をシェルターに取り付け、大気中に1ヶ月間さらしたものを分析する。



区 分		調 査 地 点	区 分		調 査 地 点
杵 築 市	1	杵築市役所	三 重 町	9	三重町役場
	2	加貫		10	東小学校
宇 佐 市	3	宇佐市役所	竹 田 市	11	竹田広域消防本部
	4	長洲公民館		12	市勤労青少年センター
国 東 町	5	国東町役場	豊 後 高 田 市	13	豊後高田市役所
	6	サイクリングターミナル		14	トキハイндストリー
湯布院町	7	湯布院町役場	玖 珠 町	15	玖珠町役場
	8	湯布院町中学校		16	玖珠消防署

図 6 - 1 調 査 地 点

5 調査結果

調査地点別の年平均値を図6-2に示す。

年平均値の最小値は、湯布院中学校（湯布院町）の0.0068ppmで、最大値は、杵築市役所（杵築市）の0.011ppmであった。

汚染濃度の上位5調査地点は、杵築市役所、三重町役場（三重町 0.0109ppm）、宇佐市役所（宇佐市 0.0107ppm）、国東町サイクリングターミナル（国東町 0.0107ppm）、トキハインダストリーAIM高田店（豊後高田市 0.010ppm）であった。

また、上記の年平均値を一般環境大気測定局の年平均値である0.009～0.025ppm（平成13年度）と比較するとやや低めであった。

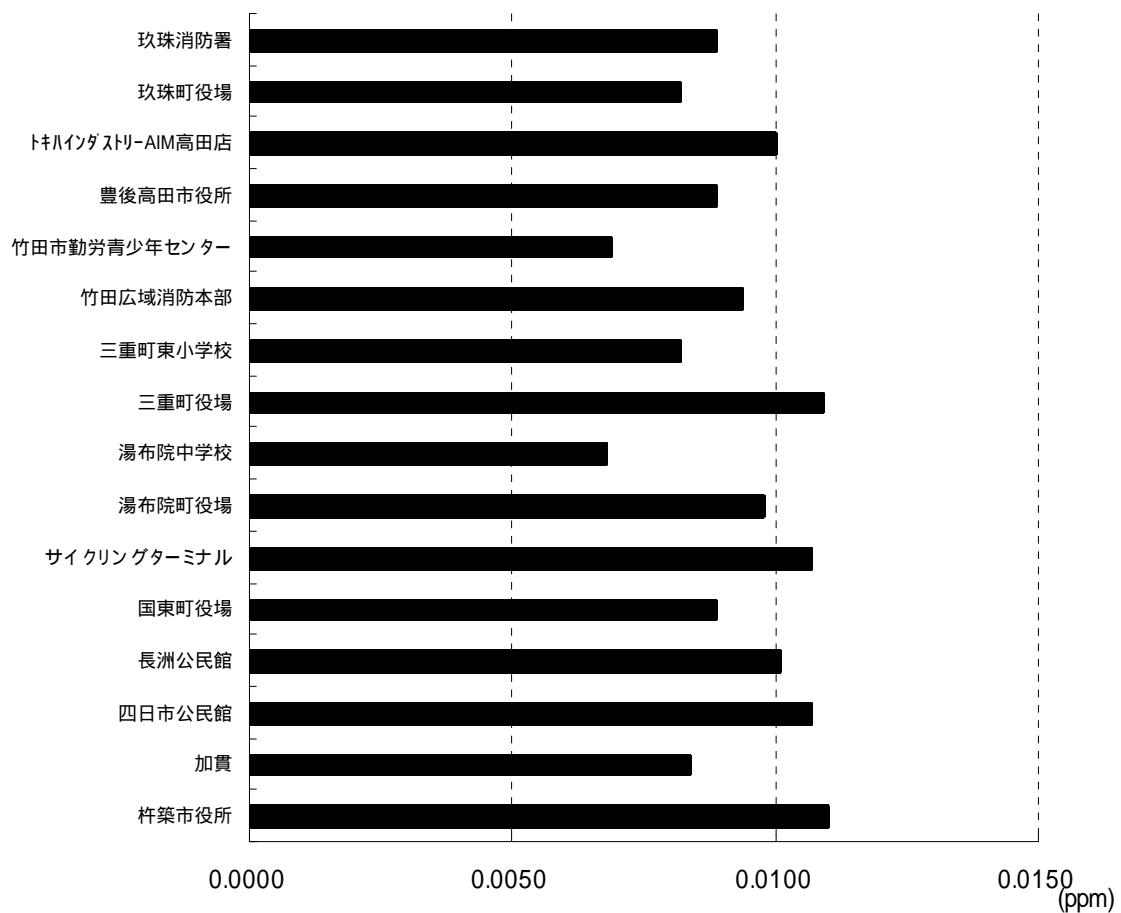


図6-2 二酸化窒素に係る調査地点別の年平均値（平成13年度）

過去5年間の地域別の年平均値の経年変化を図3-3に示す。

全体的にほぼ横ばいの傾向にある。

